No. 225

英作文 ULTIMATE CHEAT SHEET

自由英作文の頻出テーマ20と答案の骨組み

教育・テクノロジー・社会・環境・自分の話の頻出20テーマについて、書きやすい立場・理由2つ・具体例の骨組みを英語つきで。本番は骨組みを思い出して肉付けするだけ。

Web版 はこちら

ここだけ3行

1. 立場は「本音」より「英語で理由を2つ書ける方」
2. 理由2つは個人⇔社会、短期⇔長期と角度を変える
3. 主張文は問いの語を使って1文で言い切る

骨組みを持っている人が勝つ

試験時間の中で、テーマを見てから立場と理由を考え始めると、構想だけで時間が溶ける。頻出テーマは数が限られているので、**「立場・理由2つ・具体例」の骨組みを事前に作っておけば、本番は英語を書くことに集中できる**。初見のテーマでも、近いテーマの骨組みを流用できる。

◆ 骨組みを2分で作る手順 3

① **立場を決める（20秒）**
賛否の両方で理由を1つずつ考え、英語で具体例まで書ける方を選ぶ。

② **理由を2つメモ（60秒）**
日本語で1行ずつ。同じ理由の言い換えになっていないか確かめる。

③ **具体例を1つずつ（40秒）**
場面・人物・行動が浮かぶ例。出典のない統計の数字は作らない。

◆ 教育・学校生活 8

☐ 1 ① 高校生のアルバイト

立場：賛成。理由1：働くことでお金の価値がわかる。理由2：大人と話す社会経験になる。例：接客で敬語や責任感が身につく。

> I believe high school students should be allowed to work part-time.
> 高校生のアルバイトは認められるべきだ
> Working part-time teaches students the value of money.
> アルバイトはお金の価値を教えてくれる

☐ 2 ② 制服は必要か

立場：必要。理由1：毎朝服を選ぶ時間と手間が省ける。理由2：家庭の経済差が服装に出にくい。例：流行の服を買う負担がない。

> I think high schools should keep school uniforms.
> 高校は制服を続けるべきだ
> Uniforms make differences in family income less visible.
> 制服は家庭の経済差を見えにくくする

☐ 3 ③ スマホの学校持ち込み

立場：ルールつきで賛成。理由1：緊急時に家族と連絡できる。理由2：調べ学習の道具になる。例：電車が止まった時に連絡できる。

> Students should be allowed to bring smartphones to school with clear rules.
> 明確なルールの下でスマホの持ち込みを認めるべきだ
> Students can contact their families in an emergency.
> 緊急時に家族と連絡が取れる

☐ 4 ④ オンラインか対面か

立場：対面。理由1：その場で質問して理解を確かめられる。理由2：友人との交流で社会性が育つ。例：グループ活動で意見をまとめる経験。

> I prefer face-to-face classes to online classes.
> オンラインより対面の授業がよい
> Students can ask questions and get answers immediately.
> その場で質問して答えをもらえる

☐ 5 ⑤ 宿題をなくすべきか

立場：反対。理由1：授業内容の復習になり定着する。理由2：自分で時間を管理する力がつく。例：部活と両立する計画を立てる。

> I disagree with the idea that homework should be abolished.
> 宿題を廃止するという考えに反対だ
> Homework helps students review what they learned in class.
> 宿題は授業内容の復習に役立つ

☐ 6 ⑥ 留学すべきか

立場：賛成。理由1：毎日使うので語学力が伸びる。理由2：異文化の中で自立心が育つ。例：寮生活で自分で問題を解決する。

> I believe that studying abroad is worth the cost.
> 留学は費用に見合う価値がある
> Students become more independent when they live abroad.
> 海外で暮らすと、より自立する

☐ 7 ⑦ 部活動の全員参加

立場：反対。理由1：興味のない活動を強制しても成長しにくい。理由2：自習や習い事に使う時間を奪う。例：長い練習で勉強時間が減る。

> Club activities should not be compulsory for all students.
> 部活動を全員に義務づけるべきではない
> Long hours of practice can leave students too tired to study.
> 長い練習で疲れて勉強できなくなる

☐ 8 ⑧ ボランティアの義務化

立場：反対。理由1：義務にすると自発的に助ける意味が薄れる。理由2：受け入れ先の負担が増える。例：やる気のない参加者の世話。

> I do not think volunteer work should be required for high school students.
> 高校生にボランティアを義務づけるべきではない
> Volunteering loses its meaning when it is forced.
> 強制されるとボランティアの意味が失われる

◆ テクノロジー 5

☐ 1 ⑨ 学習でのAI利用

立場：条件つきで賛成。理由1：作文などにすぐ添削がもらえる。理由2：自分のレベルに合った説明を受けられる。条件：答えの丸写しはしない。

> Students should be allowed to use AI, as long as they do not copy its answers.
> 答えを丸写ししない限り、AIの利用を認めるべきだ
> AI can give students instant feedback on their writing.
> AIは作文にすぐ添削をくれる

☐ 2 ⑩ 若者とSNS

立場：利点の方が大きい。理由1：遠くの人とつながれる。理由2：情報を早く得られる。ただし：使う時間を決める。例：留学した友人と毎日話せる。

> I believe social media does young people more good than harm.
> SNSは若者にとって害より益が大きい
> Young people can stay in touch with friends who live far away.
> 遠くに住む友人と連絡を取り続けられる

☐ 3 ⑪ キャッシュレス社会

立場：賛成。理由1：支払いが速く、レジの待ち時間が減る。理由2：記録が残り支出を管理しやすい。例：アプリで1か月の出費を確認。

> I am in favor of a cashless society.
> キャッシュレス社会に賛成だ
> Digital records make it easier to keep track of spending.
> 記録が残るので支出を管理しやすい

☐ 4 ⑫ 自動運転車

立場：賛成。理由1：人のミスによる事故を減らせる可能性。理由2：運転できない高齢者の移動を助ける。例：病院や買い物に1人で行ける。

> Self-driving cars will make our lives better.
> 自動運転車は暮らしを良くする
> They could help elderly people who can no longer drive.
> 運転できなくなった高齢者を助けうる

☐ 5 ⑬ AIは仕事を奪うか

立場：奪うだけではない。理由1：単純作業をAIが担い、人は創造的な仕事に集中できる。理由2：AIを扱う新しい仕事が生まれる。

> AI will change jobs rather than simply take them away.
> AIは仕事を奪うというより変える
> New jobs will be created to develop and manage AI.
> AIを開発・管理する新しい仕事が生まれる

◆ 社会・環境 6

☐ 1 ⑭ 在宅勤務

立場：賛成。理由1：通勤時間がなくなり家族との時間が増える。理由2：満員電車がなくストレスが減る。例：浮いた時間で運動できる。

> I think more companies should allow employees to work from home.
> もっと多くの会社が在宅勤務を認めるべきだ
> Workers can spend the time they save on commuting with their families.
> 通勤で浮いた時間を家族と過ごせる

☐ 2 ⑮ 外国人観光客の増加

立場：歓迎。理由1：地域の経済が活性化する。理由2：住民が異文化に触れる機会が増える。ただし：混雑やマナーの対策は必要。

> The increase in foreign tourists is good for Japan.
> 外国人観光客の増加は日本にとって良い
> Tourists bring money to local shops and restaurants.
> 観光客は地元の店や飲食店にお金をもたらす

☐ 3 ⑯ 食品ロスを減らすには

提案型。案1：必要な分だけ買う習慣をつける。案2：店が売れ残りを安く売ったり寄付したりする。例：期限が近い商品の値引き。

> One effective way to reduce food waste is to buy only what we need.
> 食品ロスを減らす効果的な方法は必要な分だけ買うことだ
> Stores could sell food close to its expiration date at lower prices.
> 店は期限の近い食品を値下げして売ることもできる

☐ 4 ⑰ 環境のために個人ができること

提案型。案1：マイバッグ・マイボトルでごみを減らす。案2：近い距離は車ではなく自転車や徒歩。小さな行動が周りの意識も変える。

> Individuals can help the environment by reducing plastic waste.
> 個人はプラごみを減らすことで環境に貢献できる
> Walking or cycling short distances saves energy.
> 近い距離を歩くか自転車で行くとエネルギーの節約になる

☐ 5 ⑱ 住むなら都会か田舎か

立場：田舎。理由1：静かでストレスが少ない。理由2：住居が安くて広い。例：在宅勤務なら田舎でも都会の仕事ができる。

> I would prefer to live in the countryside.
> 田舎に住む方がいい
> Housing in the countryside is cheaper and more spacious.
> 田舎の住居は安くて広い

☐ 6 ⑲ 紙の本か電子書籍か

立場：紙の本。理由1：画面の通知がなく集中しやすい。理由2：書き込みやページの行き来がしやすい。例：参考書に線を引いて復習。

> I prefer printed books to e-books.
> 電子書籍より紙の本がよい
> Readers are not distracted by notifications.
> 通知に気を散らされない

◆ 自分の話型 1

☐ 1 ⑳ 大学で挑戦したいこと

1つに絞って「何を→なぜ→どう役立てるか」。例：留学生と交流して英語で議論する力をつけ、将来国際的な仕事に生かす。

> At university, I want to join an international exchange program.
> 大学では国際交流プログラムに参加したい
> I hope to use this experience in an international career.
> この経験を国際的な仕事に生かしたい

◆ 骨組み作りの落とし穴 3

☐ ✕ ~~理由1：お金がかかる／理由2：費用が高い~~
○ **理由1：費用（お金）／理由2：時間や健康など別の視点**
同じ理由の言い換えは1つと数えられ、内容が薄く見える。

☐ ✕ ~~立場を途中で変える（賛成で書き始め、反対の理由を並べる）~~
○ **譲歩は1文だけにし、本論は自分の立場の理由で埋める**
どちらの立場か読み手が迷うと、構成点を失う。

☐ ✕ ~~提案型のテーマで賛否を答える~~
○ **How can we ～? には方法を答える（指示がなければ2つが書きやすい）**
問いの形が違えば答えの形も違う。問いの疑問詞を確認。

◆ 骨組みを答案にしたら採点してもらう 1

英作文超絶採点くん（原田英語）
無料
答案を貼るか撮るだけで一文ずつ添削・採点。骨組みから書いた答案の仕上がりを確かめる。
haradaeigo.com/eisakubun-saiten-ai/

参考資料【大学受験・自由英作文テーマ一覧！】国公立大＆私立大学入試に出る自由英作文テーマ50を大胆予想！（原田英語）